



東京都内信用組合共同企画商品

# エール-V

募集金額 募集期間 適用金利 お預入期間	参加信用組合ごとに異なりますので、各組合専用のパンフレットをご覧ください。
寄付金額	募集期間最終日の「しんくみSDGs定期預金」残高×応援レート0.02%相当額。 (参加信用組合総募集金額56億円の場合、寄付金額は最大で112万円となります) ※ご契約者さまに寄付金のご負担はございません。
対象商品	スーパー定期
お預入金額	10万円以上、1,000万円未満(1円単位)
ご利用いただける方	本趣旨にご賛同いただける方
税金	個人:20.315%の源泉分離課税(国税15.315%、地方税5%) 法人:総合課税
期日前解約時のお取扱い	本定期預金を中途解約する場合は、契約された信用組合の定める中途解約利率が適用されます。
金利情報の入手方法	金利(年利回り)は店頭備え付けの金利表示ボードまたは窓口へご照会ください。
その他参考となる事項	本定期預金は預金保険の対象になっており、預金保険の範囲内で保護されます。

※詳しくは参加信用組合の窓口または担当者までお問い合わせください。



●SDGsとは●

「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」のことです。社会が抱える問題を解決し、世界全体で2030年をめざして明るい未来を作るための17のゴールと169のターゲットで構成されています。2015年9月、ニューヨーク国連本部において193の加盟国の全会一致で採択された国際目標です。



東京都内信用組合共同企画商品

定期預金のご契約が  
こども食堂の支援へ  
つながります

# エール-V



提供元:「認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」

お客さまからお預かりした定期預金ご契約総額の0.02%相当額を参加信用組合が共同で拠出し、「認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」を通じて、こども食堂へ寄付いたします。

(お客さまのご負担はございません。)

**募集金額 56億円**

参加信用組合ごとの募集金額・募集期間・適用金利等については、それぞれ異なります。各組合専用のパンフレットをご覧ください。

(参加信用組合総合計)

参加信用組合 (五十音順)

あすか信用組合	共立信用組合
江東信用組合	青和信用組合
全東栄信用組合	第一勧業信用組合
大東京信用組合	東京厚生信用組合
中ノ郷信用組合	文化産業信用組合

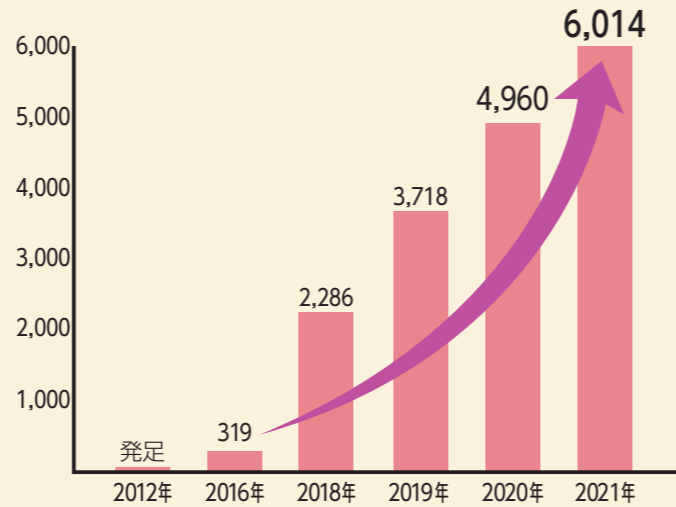


# こども食堂とは？

「こども食堂」とは、子どもが一人でも行ける無料または低額の食堂です。「地域食堂」「みんな食堂」という名称のところもあります。こども食堂は民間発の自主的・自発的な取組みで、運営を支援する公的な制度が整備されていないにもかかわらず、現在その数は全国で約 6,000 箇所、東京都内では 747 箇所にものぼっています。



食堂は、お寺や飲食店、コンビニエンスストア、保育園等、様々な担い手で運営され、多様な広がりを見せています。コロナにおいて、こども食堂は居場所としての開催は難しくなりましたが、それでも日頃からのつながりを生かし、お弁当や食材等の配布などのフードパントリーの活動などにかえ、子ども、子育て世帯等とのつながりを守り、活動を続けています。



こども食堂は、月 1 回開催のところから 365 日 3 食を提供しているところまで、数人を対象としているところから毎回数百人が集まるところまで、実に多様です。目的も、おなかをすかせた子どもへの食事提供から、孤食の解消、滋味豊かな食材による食育、地域交流の場づくりと、さまざまです。子どもたちを見守り、地域のつながりをつくりたいという気持ちで始まったこども



## エール-Ⅳ 昨年度の実績

昨年度、都内のこども食堂を応援する目的で募集した、都内10信用組合による共同企画商品「しんくみSDGs 定期預金」エール-Ⅳにつきましては、お陰さまをもちまして、当初総募集預金額を大幅に上回る預入をいただきました。これも偏にお客様の御厚意の賜と厚く感謝申し上げます。

寄付金額は募集預金の0.02%相当額であります120万4,402円を全額寄付させていただきました。

寄付先である都内のこども食堂につきましては、「認定NPO法人全国こども食堂支援センター・むすびえ」を通じて公募を実施し、募集期間内に30団体の応募があり、慎重に検討した結果23団体を採択し助成を行いました。

くみちゃん

## こども食堂が大事にしていること これからも大事にしていきたいこと



全国に広がるこども食堂は、子どもたちをあたたくやさしく見守りたいという想いで運営されています。運営者の想いがぎゅうぎゅうにつまったそれぞれの活動は、社会を彩るように多様で、それでいて、みんなを包み込む場所です。そんなこども食堂が大事にしていることを、これからも守り、

そしてやさしい活動が、さらに広がっていくようにと願いを込めて、こども食堂が大事にしていること、大事にしていきたいことを 5 つにまとめました。私たちの社会が、やさしい社会になるように。あたたかいつながりが実感できる社会が続くように。

### 01

#### 多様性

#### “違いを認めあい”

こども食堂は民間活動であり、行政サービスのように規格化されていません。それゆえ、運営理念、規模、頻度、食事内容、料金等は、こども食堂によって異なります。参加する子どもたち・大人たちの多様性を尊重するこども食堂は、こども食堂相互の多様性も尊重します。

### 02

#### 自発性

#### “「やりたいのは自分」の気持ちで”

こども食堂は誰かに頼まれて始めるものではありません。ましてや行政に頼まれて始めるものでもありません。「自分がやりたいからやっている」「他人のためでもあるが自分のためでもある」——想いは大切ですが、過度な気負いは禁物です。こども食堂のみなさんは、自分のためだ、とよく笑って言います。

### 03

#### インクルーシブ

#### “分け隔てなく誰にでも”

たまたま知った「大変な誰か」を思いっきり支えられる、えこひいきできるのが、民間活動たるこども食堂の強みです。ですが、誰が、いつ、どんな理由・形で困ることになるかわからないこのご時世、その機会は誰にでも開かれているべきです。そもそも約 8 割のこども食堂には参加条件がなく、みんなに開かれています。

### 04

#### 非営利

#### “みんなのために”

自分のためだと笑って言うのは微笑ましいですが、自分の客集め・信者集め・票集めのためと言うのは笑えません。みんなのためになることが自分のためでもあるという公共性・公益性の観点は欠かせません。株式会社の行うこども食堂も宗教法人の行うこども食堂も歓迎します。ただし、こども食堂に関しては、営利活動・布教活動等とは厳に切り離して行ってもらいたいです。

### 05

#### 地域性

#### “地域をつなげ、笑顔をつなげる”

子どもが減り、人が減り、さびしくなっていく地域ににぎわいを作りたい。隣の人の顔も知らない、道で会ってもあいさつもない、そんな状態をなんとかしたい。放っておかれる子をなくしたい。自分が暮らす生活圏（地域）において、つながりたい、つなげたい、という想いが多くのこども食堂にはあります。

本メッセージを通じて、多くのこども食堂が大事にしていることが、これからこども食堂を始めようとする多様な担い手の方たちに伝わることを願っています。そして、それを通じて、一人でも多くの子どもや地域の方たちが、こども食堂にアクセスできる社会になることを願っています。

2022年4月  
こども食堂運営者、こども食堂地域ネットワーク団体 有志一同  
認定 NPO 法人全国こども食堂支援センター・むすびえ